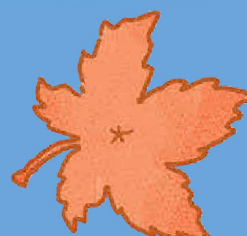


5

基本目標



《暮らしの基盤を整備する》

機能的な生活を支える

「山の都」のまちづくり





yamato-town

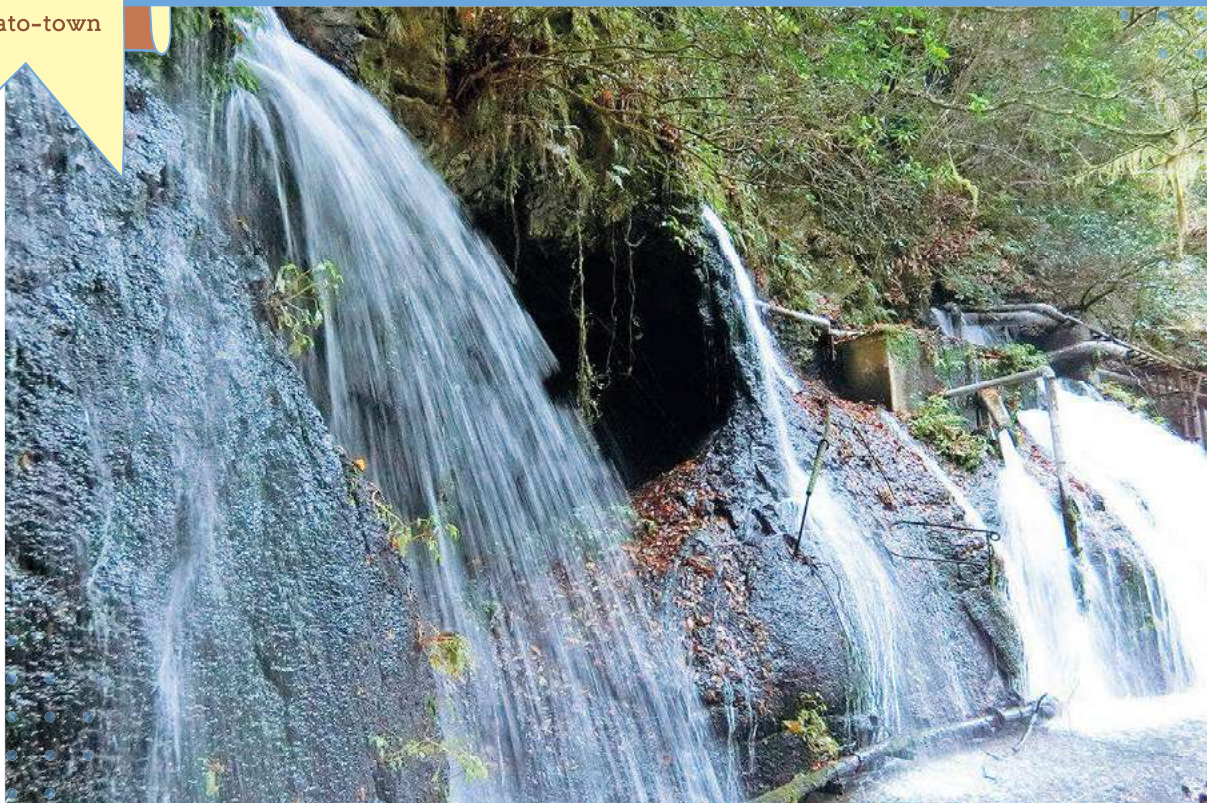
—基本方針—

- 5-1. 質の良い水の安定的な供給
- 5-2. 社会生活基盤の整備
- 5-3. 公共交通の確保・維持
- 5-4. 環境保全と循環型社会の形成
- 5-5. 自然特性を生かした電源供給とゼロカーボンの達成
- 5-6. DXの推進
- 5-7. 住環境の整備・定住の促進

5-1

yamato-town

質の良い水の安定的な供給



町の現状・課題

- 本町の水道事業は、町民にとって欠かすことのできない重要なライフラインであり、安定的で持続的かつ効率的な運営が求められています。
- 高度経済成長期に整備された水道施設や水道管の老朽化が進み、耐用年数を超えた水道管の漏水が多発し、近い将来の更新需要の増大が懸念されています。そのため、更新計画に従って、施設や管路の更新を進めていく必要があります、計画的に水道事業の持続可能性を確保することが大きな課題となっています。
- 人口減少に比例して給水人口も減少し、水道使用量や水道使用料の減少が見込まれています。そのため、中長期的な財政支出の状況を踏まえて適正な水道料金基準を算定する必要があります。

数値目標

指標名	R 6	R 11	R 15
有収率 ³⁰	60.0%	63.0%	65.0%
管路の耐震化率	24.9%	27.2%	29.2%

³⁰ 有収率：供給した水のうち、実際に料金を徴収できている水の割合を示す指標。

まちづくりの方向性と具体的な取り組み

【①計画的な施設整備】

- 令和6年度に改定された「山都町水道事業施設更新計画」に基づいて国庫補助金等を活用しつつ、老朽化した管路の更新や耐震化などを進め、計画的な水道施設整備を進めます。
- 熊本県内5市2町共同で衛星画像解析活用漏水調査や現地漏水調査を実施するなど、修繕箇所の発見や対応を通じて、有収率の改善を図ります。

主要な取り組み

- ・ 山都町水道事業施設更新計画の改定
- ・ 衛星画像解析による漏水調査
- ・ 計画的な水道施設更新

【②安定的な水道事業の継続】

- 山都町水道ビジョン（令和7年度版）に基づいて、水道事業の安定的な経営を行います。
- 水需要及び財政収支の将来予測を行った上で、今後10年間における水道事業の方向性と具体的な取り組みや経営戦略を改定し、持続可能な水道事業を展開します。

主要な取り組み

- ・ 山都町水道ビジョンの策定
- ・ 水道料金の改定
- ・ 経営戦略の改定

【③安全・安心な水道水の維持管理】

- 本町は水資源が豊富な環境にあり、湧水や地下水を主な供給源としています。今後も湧水や地下水を次亜塩素酸、紫外線やろ過による浄化処理をした上で、各世帯に水道水を供給していきます。

主要な取り組み

- ・ 水質検査の実施
- ・ 水道施設の定期清掃
- ・ 鉛給水管の解消
- ・ クリプトスポリジウム³¹対策としての紫外線照射設備の導入



みんなで取り組むこと



- こまめに蛇口を閉めるなど、節水を心がけましょう。
- 地域や家庭の中で、水の大切さについて考えてみましょう。

³¹ クリプトスポリジウム：ヒトの消化管に寄生する原生動物。

5-2

社会生活基盤の整備

yamato-town



町の現状・課題

- 町の地籍調査対象面積は 429.95km²と広大な面積を有しており、今後、地籍調査を実施する地区においては、土地所有者の高齢化や不在村化等が著しく進行しています。そのため、土地の境界確認に必要な境界を知る現地の精通者が減少し、円滑な境界確認が困難となる恐れがあるため、調査の早期完了を目指す必要があります。
- 町道の路線数は 1,000 路線を超え、幅員狭隘・急カーブ・急勾配の路線が多く、住民生活に支障を来しています。今後も住民生活の利便性向上のため道路改良の推進が必要となります。
- 町内の道路やトンネル、橋梁等は老朽化が進んでおり、令和 16 年には建築から 50 年を超える町の橋梁の割合が 60%を超える推計となるなど、社会生活基盤の適切な維持管理が課題となっています。
- 適正な管理及び住民サービスの向上に向けて、町全体の町道認定の見直しが必要となっています。
- 山都町公共施設等総合管理計画の基本方針の一つにユニバーサルデザインの推進を掲げ、誰もが利用しやすい施設となるよう、新規整備・改修・修繕にあたっては積極的にバリアフリー化を検討しています。

数値目標

指標名	R 6	R 11	R 15
地籍調査の進捗率	56.1%	67.0%	78.0%
町道の改良率	42.5%	43.0%	44.0%

まちづくりの方向性と具体的な取り組み

【①地籍調査の早期完了に向けた取り組みの推進】

- 地籍調査は、公共事業や土地取引の円滑化、災害復旧の迅速化、課税の適正化・公平化等の重要な基本情報となることから、今後はさらに推進体制の充実を図り、地籍調査の早期完了を目指します。

主要な取り組み

- ・ 地籍調査事業の推進
- ・ 土地一筆毎の所有者、地番、地目、境界、面積を明確にする調査の実施

【②道路改良工事の推進及び道路構造物の適切な維持管理】

- 幅員狭隘や急カーブ・急勾配が多い町道について、計画的に改良工事を推進し、車両通行の安全と住民生活の利便性向上を図ります。
- 老朽化が進むトンネルや道路、橋梁等の道路構造物の点検、計画的な補修、更新、危険箇所の改善を行い、長寿命化の推進を図ります。

主要な取り組み

- ・ 道路の計画的な改良
- ・ 道路のメンテナンス
- ・ 橋梁等の計画的な点検、補修

【③九州中央自動車道の延伸に向けた取り組みの推進】

- 高速道路の延伸に向け、関係機関と連携し、地域の将来を見据えた交通ネットワークの充実に取り組みます。

主要な取り組み

- ・ 九州中央自動車道延伸に関する要望活動
- ・ 関係機関との協議

【④公共施設等におけるユニバーサルデザイン化】

- 個人や事業主が店舗などの建物を、誰もが利用できるよう、ユニバーサルデザインに配慮した改修をする際に費用の一部を助成するなど、町のユニバーサルデザイン化を推進します。
- 役場をはじめ町の公共施設等において音声案内を設置するなど、文字情報や音声、デジタル機器といった多様な手段で情報を伝達できる環境を整備し、誰もが安心して情報を受け取れるようにします。

主要な取り組み

- ・ 民間施設のユニバーサルデザイン化の推進
- ・ 視覚的に分かりやすい案内表示の設置
- ・ やさしい日本語や多言語対応



みんなで取り組むこと

- 道路や橋梁の損傷、段差、ガードレールの破損などを発見したら行政へ通報しましょう。
- 道路等の清掃活動に参加して、路肩や歩道を清潔に保ちましょう。
- 学校や地域団体で福祉体験・車いす体験・点字ブロック体験などを行い、理解を深めましょう。

5-3

yamato-town

公共交通の確保・維持



町の現状・課題

- アンケート等によると、「公共交通は必要」という意見は多いものの、町民の交通手段は専ら自家用車であり、公共交通の利用が進んでいない状況です。
- 民間路線バスでは、運転手不足による路線の廃止や減便が続いています。
- 通潤橋の国宝指定を受け、通潤橋への観光客は増加傾向にありますが、道の駅通潤橋と国宝通潤橋をつなぐ公共交通はタクシーのみで、交通手段の整備が喫緊の課題となっています。
- 本町では、令和5年度に「山都町地域公共交通計画」を策定したほか、コミュニティバスの利用者減少及び運行効率の低下を受け、デマンド型乗合タクシーを導入し、デマンド交通³²への転換を図るなど運行形態を見直しています。

数値目標

指標名	R 6	R 11	R 15
コミュニティ交通利用者数	8,722 人	16,600 人	16,600 人
民間路線バス利用者数	206,056 人	207,000 人	207,000 人

³² デマンド交通：利用者の予約や需要に応じて運行ルートや時間を柔軟に決める交通サービス。

まちづくりの方向性と具体的な取り組み

【①コミュニティ交通の維持】

- 令和6年度から実証運行を開始したデマンド型乗合タクシーについて、運行形態を随時見直しながら利用者の利便性向上に努め、本格運行及び継続的な運行へつなげます。
- 町内幹線道路をつなぐコミュニティバスの運行を継続します。

主要な取り組み

・デマンド型乗合タクシー運行の維持

・コミュニティバス運行の維持

【②民間路線バスの利用促進】

- 民間路線バスは町外へ移動できる唯一の手段であり、その維持は重要課題です。民間路線バス事業者と連携しながらバスを利用したいと思える施策を検討し、継続的な利用者増加のための取り組みを推進します。

主要な取り組み

・利用しやすい運賃施策の検討

【③公共交通における担い手不足の解消】

- 人手不足による公共交通路線の廃止や減便を防ぐため、町民の資格取得を助成するなど、町内の公共交通に携わる人材の確保に努めます。

主要な取り組み

・第二種運転免許の取得支援

・人材確保のための各種広報活動

【④利用しやすい公共交通網の整備】

- 道の駅通潤橋と国宝通潤橋をつなぎ、浜町商店街を回遊できる新たな交通モードの導入を検討するなど、利便性の高い公共交通網の整備を行います。
- 持続可能な公共交通を目指し、町民の意識醸成に努めます。

主要な取り組み

・公共交通計画の推進

・モビリティマネジメント³³の推進

みんなで取り組むこと



- 地域公共交通について話し合う場に参加しましょう。
- 公共交通を積極的に利用しましょう。

33 モビリティマネジメント：情報提供や意識啓発を通じて、公共交通や徒歩・自転車の利用を促し、持続可能な移動を実現する取り組み。

5-4

yamato-town

環境保全と循環型社会の形成



町の現状・課題

- 本町では美しい山や川などの自然環境が広がっていますが、ごみの不法投棄などが見受けられており、自然環境の保護や廃棄物の適正な処理、清潔な生活環境の保持によって美しいまちづくりを推進する必要があります。また、河川への生活排水の流入などが見受けられており、河川環境美化等に努めることが重要です。
- 町民へのアンケートをみても、町の魅力として豊かな自然環境をあげる町民の割合は高くなっています。町民が誇れる自然環境を、地域一体となって守っていくことが重要です。

数値目標

指標名	R 6	R 11	R 15
ごみのリサイクル率	13.1%	14.6%	16.1%
1人1日当たりのごみ排出量	667.2g	646.6g	626.6g
合併処理浄化槽普及率	71.4%	78.0%	85.0%

まちづくりの方向性と具体的な取り組み

【①地域一体となった自然環境保全活動の推進】

- 豊かな自然環境を保全するため、河川等については水質調査を実施し、現状把握に努めるほか、森林保護や大気汚染の注意喚起などに地域一体となって取り組みます。
- 各地域より選出された美しいまちづくり推進員と協働し、監視業務や広報など様々な環境保全活動を推進し、美しい自然環境を守ります。
- 生活排水による水質汚濁を防ぎ、公衆衛生の向上と生活環境の保全を図るため、合併処理浄化槽の整備促進など生活排水対策を積極的に推進します。

主要な取り組み

- ・ 河川水質調査事業の推進
- ・ 大気汚染、化学物質、騒音等への注意喚起
- ・ 合併処理浄化槽の整備促進
- ・ 美しいまちづくり推進業務の継続実施
- ・ 地域緑化活動の推進

【②地域や学校での環境学習の充実】

- 地域や学校で環境学習・教育を推進し、ごみの減量や水・エネルギーの節約、生物多様性の保全など、世代を超えて環境を守る意識を育み、持続可能な地域づくりにつなげます。

主要な取り組み

- ・ 地域における保全活動や学習の機会提供
- ・ 学校における環境教育の推進

【③廃棄物対策の推進】

- 生ごみ処理機の設置に対して補助金を交付するなど、ごみの減量化や再資源化を進めます。
- 町民に対して3R（リユース、リデュース、リサイクル）の重要性を発信し、廃棄物の適切な取り扱いについて機運を醸成するほか、ごみの分別意識向上のために資源ごみのリサイクルに向けた取り組みを推進します。

主要な取り組み

- ・ 生ごみ処理機設置補助
- ・ 3Rの啓発
- ・ 資源ごみリサイクルの推進

みんなで取り組むこと



- 町の自然環境のために、自身ができる行動を考えてみましょう。
- 地域や学校の環境教育・学習に積極的に参加してみましょう。

5-5

yamato-town

自然特性を生かした電源供給とゼロカーボンの達成



町の現状・課題

- 地球温暖化と気候変動の影響で発生する猛暑や豪雨等により、本町でも生活環境が脅かされており、地球温暖化の原因である温室効果ガスの削減と気候変動により激甚化する災害への対策が課題となっています。
- わが国では 2050 年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることを目指して、再生可能エネルギーの導入や省エネの推進などが進められており、本町でも暮らしや産業の中で温室効果ガスの実質の排出量ゼロに向けた工夫を実践することが重要となっています。
- 町内では各地域に太陽光発電システムやメガソーラー等の設置が進んでいますが、今後の推進にあたっては、長期的な視点で、自然環境や景観に配慮した取り組みが必要です。

数値目標

指標名	R 6	R 11	R 15
公共施設の温室効果ガス排出量の 2013（平成 25）年度比削減率	46.8%	51.4%	55.9%
住宅用太陽光発電システム設置件数（累計）	227 件	260 件	290 件
薪・ペレットストーブ設置件数（累計）	47 件	75 件	100 件

まちづくりの方向性と具体的な取り組み

【①官民連携による温室効果ガス削減施策の推進】

- 町民や事業者、行政が一体となって「2050年カーボンニュートラル」の実現に向け、温室効果ガスの排出削減に取り組みます。
- 環境と調和した地域づくりを進めるとともに、気候変動による影響への適応力を高めることを目指した取り組みを推進します。

主要な取り組み

- ・ 温室効果ガス排出抑制に向けた官民連携の強化
- ・ 気候変動対策の推進

【②再生可能エネルギーの効率的な利活用の推進】

- 二酸化炭素の排出抑制及び再生可能エネルギーを効率的に利用するため、新エネルギーを積極的に活用した発電方法を利用するなど地球温暖化対策と低炭素社会の構築に関する町民意識の高揚を図ります。
- 大規模な再生可能エネルギー施設の立地にあたっては、自然環境や景観への配慮のほか、防災面や地域貢献などあらゆる面から検討を行います。

主要な取り組み

- ・ 住宅用太陽光発電システムや住宅用太陽熱システム、木質（薪・ペレット）ストーブ設置の推進
- ・ 適切な再生可能エネルギー施設の導入

【③再生可能エネルギーに関する周知啓発】

- 町民の再生可能エネルギーへの理解を促進するため、視察研修会や広報紙等による啓発を行います。

主要な取り組み

- ・ 再生可能エネルギー視察研修会の実施
- ・ 広報等による啓発

みんなで取り組むこと



- 自然環境問題を身近なものとして捉えて、積極的に情報を収集しましょう。
- 再生可能エネルギーについて正しい理解のもと、活用の方法を考えましょう。

5-6

yamato-town

DXの推進



町の現状・課題

- 令和4年度に「山都町DX推進計画」を策定し、町が取り組むべき事項や時期を明確化し、自治体DXを着実かつ迅速に推進しています。
- 近年、住民サービスの多様化や人口減少、少子高齢化の進行に伴い、行政では、人材資源や財源不足が懸念されています。このような状況の中で、住民サービスを持続可能なものにするため、デジタル技術の積極的な活用による業務の効率化や働き方改革が求められます。

数値目標

指標名	R 6	R 11	R 15
コンビニ交付システムによる証明書等年間発行割合 (窓口発行証明書件数との比率)	18%	35%	50%
町民に公開しているオンライン申請システムの申請登録業務数	83件	120件	150件

まちづくりの方向性と具体的な取り組み

【①町民の利便性向上】

- 町民の生活満足度を向上させるため、行政手続きのオンライン化を進めるとともに、来庁しないで申請が行える環境を整えるなど、町民の生活実態に寄り添ったデジタル化を推進します。

主要な取り組み

- ・マイナンバーカードの利活用促進
- ・行かない窓口の推進

【②庁内業務の効率化】

- 町民への直接的な対応など職員でなければできない業務へさらに注力するために、フロントヤード³⁴改革などを進め、行政の業務効率化を図ります。

主要な取り組み

- ・フロントヤード改革の推進
- ・情報システムの標準化・共通化
- ・RPA³⁵・AI-OCR³⁶等の導入検討
- ・テレワークの推進
- ・生成AIによる業務の効率化

【③安心してデジタルを活用するための取り組み推進】

- 誰もが安心してデジタル技術を活用できるよう、管理体制の徹底に加えて、研修の実施などにも取り組みます。

主要な取り組み

- ・セキュリティ対策の徹底
- ・DX推進に向けた職員の育成

【④地域社会のデジタル化推進】

- デジタル技術を農業や観光、福祉など地域産業へ幅広く活用し、生産性の向上と住民サービスの充実を図ります。

主要な取り組み

- ・山都町DX推進計画の更新
- ・デジタルデバインド³⁷対策の推進



みんなで取り組むこと

- 日常生活の中でデジタル技術を活用できるよう、積極的に情報を収集しましょう。
- 町などが開催する勉強会などに積極的に参加し、デジタル技術を活用しましょう。

³⁴ フロントヤード：窓口など直接住民と接する部分。

³⁵ RPA：Robotic Process Automation ロボティック・プロセス・オートメーションの略で、事務作業をソフトウェアロボットにより自動化する技術。

³⁶ AI-OCR：人工知能を活用して、手書き文字や帳票などを高精度で文字データ化する技術。

³⁷ デジタルデバインド：年齢や地域、経済状況などによって生じる、デジタル技術の利用格差。

5-7

yamato-town

住環境の整備・定住の促進



町の現状・課題

- 町内では、若者向けの宅地や賃貸物件不足によるミスマッチや町外へのアクセス向上を背景に、町外への人口流出が課題となっています。
- 町営住宅等の多くが老朽化によって居住水準の低い住宅となっており、住棟ごとに建て替えや修繕、用途廃止など活用法を定める必要があります。
- 本町でも空き家は年々増加しており、防災や防犯、景観の阻害など様々な生活環境への悪影響が懸念されています。



数値目標

指標名	R 6	R 11	R 15
老朽化した町営住宅等の建て替え集約	0戸	4戸	8戸
住宅の取得に係る助成件数	15件	20件	25件
空き家バンク成立件数	29件	30件	35件
空き家の除却に係る助成件数（累計）	0件	30件	50件

まちづくりの方向性と具体的な取り組み

【①町営住宅等の管理、老朽化対策】

- 老朽化した町営住宅等の改善整備を促進し、生活環境の向上を図ります。

主要な取り組み

- ・ 公営住宅整備事業の推進
- ・ 公営住宅等ストック総合改善事業の推進

【②住宅取得希望者への支援の拡充】

- 定住を希望する人に補助金を交付するなど、民間事業者と協働で定住促進に向けた取り組みを推進します。
- 若者の定住を促進するため、遊休町有地を活用した宅地分譲や賃貸物件の整備を行います。

主要な取り組み

- ・ 住宅の取得に係る補助金の交付
- ・ 宅地造成、住宅整備事業の推進

【③各種空き家対策の促進】

- 管理不全な空き家による悪影響を防ぐため、問題のある空き家は所有者に改善を要請し、適切な管理を働きかけます。また、老朽化し危険な空き家に対しては、補助金を交付するなど除却を推進します。
- 町に所在する空き家の情報を正確に把握し、管理不全な空き家等の解消に努めます。
- 活用できる空き家情報を公開するための「空き家バンク」の利用を拡大し、空き家と借り手相談のマッチングを行います。
- 「山都町空家等対策協議会」を設置し、町内での空き家解消に向けた推進体制を構築し、空き家の活用に向けた柔軟で迅速な対応を図ります。
- 空き家対策に関する情報を広く周知し、適切な管理を促します。

主要な取り組み

- ・ 老朽危険空家等除却促進事業補助金の交付
- ・ 空き家バンクの実施
- ・ 空き家に係る普及啓発
- ・ 山都町空家等対策協議会の実施
- ・ 空き家の改修に係る補助金の交付



みんなで取り組むこと

- 空き家や住宅に関する情報提供や収集を積極的に行いましょう。
- 空き家については、管理など今後の在り方を家族等と考えてみましょう。
- 管理不全な空き家について、情報を提供しましょう。